

令和元年度 第3回 安曇野市総合教育会議 会議録

日 時 令和2年3月12日（木）午後2時から

場 所 安曇野市役所4階 大会議室東

○出席者

市 長	宮澤 宗弘		
教育長	橋渡 勝也	教育長職務代理者	唐木 博夫
教育委員	須澤 真広	教育委員	横内 理恵子
教育委員	二村 美智子		

○補助のため出席する者

教育部長	西村 康正		
学校教育課長	平林 洋一	生涯学習課長	臼井 隆昭
文化課長	那須野 雅好	学校給食センター長	有賀 啓多
学校教育課教育指導室長		會田 義昭	
学校教育課教育指導室教育指導員		古幡 栄一	
学校教育課教育指導室教育指導員		細萱 稔	

○事務局出席者

学校教育課長補佐兼教育総務係長	太田 雅史
学校教育課教育総務係	岩原 遼子

○傍聴者

傍聴人	1名	報道機関	3名
-----	----	------	----

◎開 会

教育部長 それでは、ただいまから令和元年度第3回総合教育会議を開会いたします。

議事が始まるまで本日の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の総合教育会議は公開として行いますので、よろしくお願いいたします。

◎市長挨拶

教育部長 それでは、初めに宮澤市長からご挨拶をお願いいたします。

市長 それでは、皆さん、こんにちは。

会議に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。

今年度第3回目ということになりますけれども、総合教育会議の開催をさせていただいたところでございます。教育委員の皆様方にはそれぞれお忙しい中、年度末の時期でございますけれども、ご出席を賜りまして、心から感謝を申し上げます次第でございます。

また、それぞれの立場で安曇野市の教育について、いろいろとご提言、ご意見を頂いているところでございまして、教育委員会の皆さん方の役割といたしますか、任務も大変重要な時期に差しかかっております。

その中で、ご案内のとおり、改正地方教育行政法の施行によりまして、平成27年度に総合教育会議を設置をしたわけでございますが、これまで年2回くらいずつ開催をさせていただいているところでございます。

これから、教育委員会と行政が問題意識を共有をしながら、いろいろ解決に当たっていかねばいけないというようなこと背景があつて、教育法が改正になったという部分がございますけれども、いままでどちらかという教育委員会は聖域だと。予算はつけるけれども、口は出さないというのが通常の在り方というか、言われていたところでございますが、一層地域の教育振興を図る上で、行政と委員会が連携をより深めていくという重要性が今叫ばれている時代でございます。

突然でございましたけれども、新型コロナウイルス、なかなか終息の見通しが立っておりません。各種集会在軒並み中止というようなことや学校行事にもいろいろ影響が出るのではないかと思われておりますけれども、おかげさまで安曇野市におきましては、2月28日に緊急の第2回の総合教育会議を開催をさせていただきまして、本市の対応について協議を頂

いたところでございますし、またその前に校長先生方の会議を開いていただいて、対応をしてきたところでございますので、あまり混乱もなくスムーズに今進んでいるところでございます。卒業式の縮小であるとか児童・生徒の居場所の確保であるとか、保護者の皆様や学校関係者の皆様方、ある面では大変な負担になっていると思われましても、現在のところ大きな混乱もなく、経過をしているという状況でありまして、改めて関係の皆様方のご協力に感謝と御礼を申し上げさせていただきたいと思っております。

今回は第3回の総合教育会議ということでございますが、テーマは大きく来年度の安曇野市の学校教育グランドデザイン、これは1年だけでというわけにはまいりません。ある面では、継続をした取組になろうかと思えますけれども、これまでの総合教育会議の協議内容を踏まえさせていただいて、現在の安曇野市の児童・生徒の状況などから、来年度から安曇野市の目指す方向性について議題とされていたことになっております。教育委員の皆様方から忌憚のない意見を頂いて、時間が限られてはおりますけれども、やはりこういった総合教育会議、改めてということ以外にもいろいろな面でまた意見交換をさせていただければなというように私は考えております。それぞれの皆さん方からご意見を頂く中で、安曇野市の目指すべき方向が出てきますように、特段をお願いを申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

◎教育長挨拶

教育部長 続きまして、教育委員会を代表して、橋渡教育長からご挨拶をお願いいたします。

教育長 安曇野市総合教育会議の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

宮澤市長におかれましては、平素から市の教育行政に深いご理解と多大なご尽力を賜っておりますこと、またこのたびの政府による全国一斉の休校要請を受けての市内小中学校の対応につきまして、総合教育会議を開催していただきましたことに、改めて心から感謝と御礼を申し上げます。

臨時休業措置前半が終わりますけれども、おかげさまで児童・生徒、保護者とも混乱なく落ち着いた状況でございます。来週、縮小した形ではありますが、小中学校の卒業式が無事実施できるよう願っております。今後とも学校と連携しながら、緊張感をもって危機管理に当たる決意でございます。

さて、本日の総合教育会議におきましては、来年度の安曇野市学校教育グランドデザイン

についてとじていただきました。今後の安曇野市の教育の方向性について、ご協議を頂きたいと思ひます。

次に、報告事項としまして、臨時休業中のこれまでの対応と今後について報告をさせていただきます。

では、本日も有意義な会議となりますよう、よろしくお願ひいたします。

◎議事 来年度の安曇野市学校教育グランドデザインについて

教育部長 それでは、4の議事に入らせていただきます。

議事につきましては、この会議の主催者であります宮澤市長より進行をお願ひいたします。

市長 それでは、しばらくの間、議事進行を務めさせていただきますので、皆様方のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

来年度の安曇野市学校教育グランドデザインについて、事務局のほうから説明をお願ひいたします。

教育部長 それでは、資料にしたがいまして、それぞれ担当から説明をいたします。

なお、この後の説明につきましては、着座にてさせていただきますのでお願ひいたします。

市長 教育指導室長のほうからお願ひします。

学校教育課教育指導室長 「来年度の安曇野市学校教育グランドデザインについて」資料1 令和元年度安曇野市小学校・中学校電子メディア機器等に関するアンケート調査の結果により説明。

市長 ありがとうございます。

続きまして、学校保健統計調査の結果（虫歯・視力）について、教育総務係長のほうからお願ひします。

学校教育課課長補佐兼教育総務係長 「来年度の安曇野市学校教育グランドデザインについて」資料2 学校保健統計調査の結果（虫歯・視力）により説明。

市長 ありがとうございます。

続きまして、全国体力・運動習慣調査の結果について、古幡教育指導員のほうからお願ひします。

学校教育課教育指導室教育指導員 「来年度の安曇野市学校教育グランドデザインについて」資料3 全国体力・運動習慣調査の結果により説明。

市長 ありがとうございます。

引き続きまして、全国学力・学習状況調査の結果について、細萱教育指導員のほうからお願いいたします。

学校教育課教育指導室教育指導員 「来年度の安曇野市学校教育グランドデザインについて」

資料4 全国学力・学習状況調査の結果により説明。

市長 ありがとうございます。

引き続きまして、安曇野市教育委員協議会の取り組み状況について、平林課長からお願いいたします。

学校教育課長 「来年度の安曇野市学校教育グランドデザインについて」資料5 安曇野市教育委員協議会の取り組み状況により説明。

市長 ありがとうございます。

引き続きまして、橋渡教育長のほうから令和2年度安曇野市学校教育グランドデザイン（案）、令和2年度安曇野市コミュニティスクール（ASC）グランドデザイン（案）について説明をしてください。

教育長 「来年度の安曇野市学校教育グランドデザインについて」資料6 令和2年度安曇野市学校教育グランドデザイン（案）、資料7 令和2年度安曇野市コミュニティスクール（ASC）グランドデザイン（案）により説明。

市長 それぞれ事務局関係、教育長のほうから説明を頂きました。

一括して議論をするのは大変だと思いますが、少し分けさせていただきます。

まず、最初に説明を頂いた會田教育指導室長のほうから頂いた資料1について、説明していただいたことに対して、ご意見、ご質疑等ございましたら、委員の皆様方からお伺いをさせていただきたいと思います。

唐木委員 お願いいたします。

この調査について、12月のときの総合教育会議のことを踏まえて、早手をつけていただいたんですけれども、大変に具体的なものが出てきて、本市の実態が明らかになったかなというふうに思いました。

それで、数字的にはおよそこのぐらいのことが出てくるのかなということを思っていたわけなんですけど、改めて本市の実態などということで明確になると、やっぱりこれは対応しなきゃいけない部分がたくさんあるなということを改めて思ったわけです。それで、この問題については学校とか教育委員会とか、それだけではもう解決しない問題でありますし、やっ

ぱり子どもの教育に一義的な責任を持っている家庭が主体になってもらわなくてはいけない部分があるわけでありますので、ルールづくり等についてPTAに動いていただいたり、学校で動いていただいたり、また中学生議会の結果を得て、子どもたちに考えてもらう部分がありますが、是非この実態と今後の対応について、市民の皆さん全体に何かうまく情報発信していったり、そして協働できるところは探っていくと、そんな手だてを講じていくのはどうかというふうに思います。とにかく、学校だけの問題では、これは解決していかないかなということでございます。

市長 ありがとうございます。

アンケートをせっかく取られたので、この結果を今後どう生かすかということだと思えます。今後の対応、あるいは情報発信の在り方等について、事務局のほうで何かございますか。

学校教育課長 これだけの成果を得られたものですから、秘書広報課とも打ち合わせをして、是非特集的な記事を書いていただくか、市の広報あづみのを通じて広く全家庭にお配りをして、啓発をしていきたいということが一つございます。また、これだけのデータを学校へ送って、それぞれ学校でこのデータをどう活用していただけるかということも併せて、学校と協議をしてみたいというように考えております。

以上でございます。

学校教育課教育指導室長 今、平林課長のおっしゃったことに加えますと、先ほど唐木委員のほうからも出ましたけれども、教育委員会としては特にこの問題について、課題意識を持っている、まずは中学生と意見交換をしながら、ただルールをつくっただけでは、決してそれは絵に描いた餅になってしまうというふうに考えまして、中学生の代表の生徒たちを集めて、どんなふうにこれに取り組んでいったらいいかというところから、まず始めたいと思っていました。3月4日に中学生代表者を計画して、各学校から代表の生徒まで選出していただいて開くばかりになっていたんですが、ご存じのように今臨時休校になってしまいましたので、そこでストップしておりますが、まずはそこで中学生を中心に取組をつくっていききたいということが、1点。

それから、校長会を通して小学校のほうではこの実態を受けて、令和2年度各学年の発達段階に応じた授業を是非仕組んでもらいたい。それは、メディアのネットモラルのことがどうしても中心になりがちだけれども、やっぱり先ほどの視力の問題もありますし、子どもたちのアンケートを見ても、子どもたち自身もやっぱり視力に影響があるんじゃないかと感じ

ている子どもたちが多く、そのやっぱり意識を大事にしながら、どんなふうにメディアと付き合っていくかということを経験面からも是非授業を仕組んでもらいたいというようなことをお願いをしてあります。

以上です。

市長 ありがとうございます。

このような取組に対しては、このアンケート結果等、市の広報への掲載というのと、あるいはこの資料を各学校にフィードバックさせていきたいということ、また中学生との意見交換等の実施をしたいということでもあります。小学校の場合は、校長会等を通じて、各発達段階に応じた取組をしていきたいというような説明がございました。

他に、委員の皆さんから何かご意見、ご質問等ございますか。

二村委員 お願いします。

スマホの利用について、学校で保護者とか生徒と学校、研修会などが行われているんですけども、警察のほうで実際にどういう手口で被害に遭うとかどう防止するかという、啓発の動画を作っていて、見られるようになっていっています。このアンケート結果を見ると、小・中学校ともに動画の視聴が多いので、啓発動画を見るように勧めるというのはどうでしょうかと思うんです。

中学生ぐらいになると自分でルールを決めて、自分でこの時間使うとかというタイムマネジメントができる子はいると思うんですけども、そんなに自制心がある子ばかりではないと思います。なので、新年度を迎えるに当たって、入学式、いい機会があると思うので、どういう形になるかは別ですが、話し合いの場を設けてほしいとかそういう自分と親と一緒にルールを決めるとかという、そういうお勧めをしたらどうかなと感じています。

以上です。

市長 他にご意見ございましたら一括してお聞きをして、あと事務局のほうの見解をお聞きしたいと思います。よろしいですか。

(発言する者なし)

市長 今、卒業式等、入学式等の保護者の皆さんが集まる場所での話し合いというようなことでよろしいわけですね。これらについての取組はいかがな方向で考えておいででしょうか。

学校教育課教育指導室長 ありがとうございます。大事な提案だと思います。

ただ、この後も少し触れますが、大変入学式を通常の形で行うのが厳しい状況であると考えております。ですので、今委員からいただいた提案はとても大事なことだし、通常の入学

式が実施できれば是非やりたいなと思いますが、今回の入学式は厳しいかなと思いますので、ただ入学式は無理でも、子どもたちが集まる機会、保護者の方が集まる機会は今後出てくるかと思えます。

年度の早い段階で、今お話しいただいたような警察の動画を見ること、それから親子で考え合うこと、そのことについての啓発等を何らかの形でしていくように考えたいなというふうに思います。ありがとうございます。

市長 他に資料1について、意見、あるいは提案等ございましたらお願いいたします。

よろしいですか。

(発言する者なし)

市長 ありがとうございます。

それでは、今出た意見をしっかり参考にいただき、アンケートが今後の教育に生かされるようお願いをしたいと思います。

そして、一つ私のほうから、各学校によっては児童・生徒が自らこういったことを守りましょうというような規定というか、約束事をつくってやっている学校もあるとお聞きをいたしておりますが、そういったことも先ほど先生のお話にあった中学生との話し合い、意見交換、非常に大切なことだと思います。こういった中で、やはり児童・生徒自らが自分たちの生活実態について約束事をつくって、それをお互いに守っていただく、先生の指導と併せて、そういう取組もしていただければなというように要望をさせていただきたいと思えます。

次に進めさせていただきます。

資料2、虫歯の件ではそれぞれ実績が上がってきているということでもあります。橋渡教育長のほうから申し上げましたとおり、私としても日本一虫歯が少ない児童・生徒の育成に力を入れてほしいということで、担当部のほうへはお願いをしているところでございますし、また虫歯に対して歯科医師会の先生方との連携が非常にうまくいっているというような実態がございますが、資料2について何かご意見やご要望等ございましたらご発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

市長 まだ時間がございますけれども、次に進めさせていただきます。

資料3について、特に体力が少し安曇野は低いというか、問題があるんじゃないかなという思いがいたしておりますが、資料3についてご意見やご要望等ございましたらお願いいた

します。

これは、資料4とも関連をさせて、一括で議論をしていただけますか。

資料4も含めて、体力、学力、それぞれの結果報告がございました。二つについてご意見、ご要望等ございましたら発言をお願いいたします。

唐木委員 お願いいたします。

私のほうは、主として体力、運動、スポーツに関わってのことですけれども、やっぱりこの結果から見て分かるとおりに、体力面もかなり課題があったり、もう一つはスポーツ離れというところが非常に大きな課題があるのかなというふうに感じております。今、スポーツ少年団とか頑張っていたいただいているわけなんですけど、例えば地域スポーツクラブもなかなか常念以外は増えていかないというようなこともあるわけです。

それで、全市的な視点に立って、生涯スポーツも含めてなんですけれども、スポーツ振興計画がやっぱり実現していくようにすべきかなと。

今度、新体育館ができるわけなんですけど、そこに先日教育委員会のときも指定管理ということでお話を受けました。それで、新しい体育館の機能の一つとして、私はスポーツセンター的な、そういう機能がまた持つことができないかということは何回か話しさせていただいているんですけれども、子どもたちのスポーツ振興、それから大人は生涯スポーツに向けて、そういうものを市として統一的に進めていかれるような、または整合を持ちながら進めていかれるような、そんな仕組みがあればきっと新しい体育館もさらにそのよさを発揮して、そして市民のスポーツ文化の向上に寄与するのではないかと、そんなことを思っております。

これについては、市長部局のほうとも大きく関係をしていくかと思うんですけれども、そんなところを検討してもらえたらありがたいなということを常々思っています。

以上です。

市長 ありがとうございます。

スポーツを通じたまちづくり、文化振興ということでもあります。総合体育館の建設に伴って、これらの有効活用というようなご提言もいただきました。建物でコメントあったらお願いいたします。

生涯学習課長 唐木委員のほうから、大変貴重なご意見いただきました。これにつきましては、市の教育委員会定例会でもご意見もいただきました。スポーツ振興という形で、今度の新総合体育館、先ほどありましたように指定管理ということで、なぜ指定管理かというところは、まず市の職員が対応するより、指定管理の一般、民間の方のすばらしいノウハウを生かして、

この体育館を親しみやすい体育館として、皆さんが寄っていただけるような体育館にしていきたいというふうに考えております。

それと、またスポーツに携わってもらって、そのノウハウを持った方にアドバイスをさせていただくような形ができればと思っております。トレーニングルームもありますので、そこを有効活用して、できれば機器等も指定管理の方に入れていただいて、そこでスポーツに毎日毎日携わっていただけるような、皆さんが小さい方から高齢者まで体育館に寄っていただけるようなものを考えて行きたいと。すぐにスポーツセンター的なものはできないかもしれませんが、その指定管理と十分お話をする中でやって行きたいと。

また、その指定管理を指定するのに当たって、今のスポーツセンター的なもの、いずれはそういうような形でできるような形を念頭において、指定管理の指定をしていくような形で考えて行きたいというふうに思っております。

以上でございます。

市長 よろしいですか。

他に何かございますか。

横内委員 学校訪問をさせていただく中で、体育の授業を見せてもらう機会がありましたけれども、今の子どもたちが本当に体力があまりないということを感じてきました。

学校教育とか社会体育もすごく大事だけれども、その前の小さい頃の遊びとかも大事なと。あと、施設の充実も大事であると思えますし、そういう意味でも今度できる総合体育館の意味や意義はとても大きいのではないかなと思えます。

せっかくある豊かな自然環境の中で、体力を高めてもらいたいと思えますけれども、小さければ小さい時ほど取り組みやすいかなと思うので、保育園のころから楽しく体を動かすことを喜びとしてほしいなと思えますし、小さい子は市歌の体操も好きと話してくれた子もいたので、そういったことの活用もできたらなと思えます。

市長 ありがとうございます。

自然に恵まれた中で、子どもの遊びの大切さなどを学びながら、体力向上に努めてほしいということでもありますけれども、どのようにしてということは考えておいででしょうか。

生涯学習課長 新しい体育館を建設しているのは、南部総合公園でございます。南部総合公園、今自然を活用したすばらしい南部総合公園だと思います。

あそこに芝を植えた広いところあります。また、噴水施設もこれから改修していきたいというようなことも他課と調整を取っております。

ですので、体育館とあそこにあるテニスコート、公園と一体化の中で、自然豊かな安曇野の体育館として有効活用していければと思っております。

市長 他にございますか。

須澤委員 7ページに教育指導室から出された資料がございますが、運動機会の創出、これは本当に大賛成でございます。かつては放課後とか土日に隣近所の子ども同士が近くの空き地や近くの学校のグラウンド等で遊びをしまして、それで年長から年少と一緒に遊びましたから、コミュニケーションの取り方、それから上の者が指導する、そして下の者はそれに従っていくと、そんなことが非常に有効でした。

縦割りというのがそこにあります。小学校が縦割り学級、それから中学校が総合的な学習の時間を利用しての縦割りで運動系の講座を設ける。これは相乗効果として、年長の者と年少の者、特に小6と小1、中3は、小学校から中学に入ったばかりの子、中1ギャップになりかねないのが、中3の子と一緒に過ごすことで学校における存在感も出てくるだろうということ、これが1点。これが、非常にいいことじゃないかと。

それから2点目は、(3)のかつては普通なんです、親が特に雨の日などに送り迎えをしている車です。それを是非雨であろうと自分で行くんだと、帰りも自分でちゃんと傘も差して帰る。こういうのをやはり指導していく、これが大事なことだということを思いまして、この7ページの方策は是非実施してもらおうと、来年の調査にも生きてくるんじゃないかと、こういうふうに思います。

市長 ありがとうございます。

ただいまの意見に対して、事務局でございますか。

学校教育課長 須澤委員から頂戴した7ページの来年度の対策ということでございます。きちんと学校のほうに取り組んでいただくよう、検討したいというふうに思います。

また、一つ補足ですけれども、この前の教育委員協議会でも取り上げていただいたとおり、明科北認定こども園では民営化をして、要するに自然保育を積極的に取り込んでいくという方針が出されております。明科北認定こども園を先導的な役割を果たしていただいて、それを他の認定こども園に広げていくというような方針を取るというふうに理解をしています。

そういったことを横内委員からのご意見にも通ずるわけですけれども、是非それを小・中学校へ生かしていく方策ということもしっかりと連携して取り込んでいかなければいけないというふうに認識しておりますので、そういった取組についても来年度実行してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

市長 他にございますか。

今どちらかという体力の問題について、それぞれご意見を伺っておりますが、学力のほうも含めて資料4まで一括でお願いをしたいと思います。

学力のほうも平均点ということは、そんなに芳しくない状況だというふうに捉えています、よろしいですかね。

(発言する者なし)

市長 私のほうからお願いをさせていただいたんですが、今体力があまり芳しくないというのは、安全対策も含めて歩くということが少しおろそかになっているような気がするんだけど、スクールバスを大分出しているんですが、スクールバスは途中で止まって、およそ何キロくらい歩くということになっているんですか。

学校教育課長 スクールバスは小学校のみに運行してございますけれども、おおむね4キロ以上、学校まで4キロ以上ある場合にスクールバスを利用させていただいております。

市長 中学は、全員歩いていくということですか。

学校教育課長 歩き、もしくは自転車を一部許可してございます。

市長 市のほうで安全対策でなるべく歩道の整備等を進めていきたいということで取り組んでおります。

それから、スポーツ教室としては全児童・生徒というわけにはいきませんが、有森裕子さんをスポーツ大使にお迎えをさせていただいて、ランニング教室なんかも実施をしているところでございます。総合体育館だけが体力を鍛える場所ではない、それぞれの地域に学校の体育館や地域の社会体育館がありますので、こちらのほうも雨が降らない日でもみんな活用していただければと思います。

それから、昨日バレーボールの日本選手権に活躍をされた三郷地域出身の浅野選手以下バレーの皆さんからお見えを頂きました。ご案内のとおり、2027年に長野国体が開催予定されておりまして、予定でも決定されておりまして、安曇野市は総合体育館でバレー、それから三郷文化公園でウェートリフティングということで、ほぼ内定というか決定をしております。これらに併せて、全てのスポーツ教室、あれもこれもできればいいんだけど、なかなか難しい面がございますので、有森さんのランニング教室や浅野選手たちを交えたバレーのまちづくり等を進めていきたいと思っておりますし、また市全体の政策の中では、環境問題や健康問題も含めて自転車のまちづくりを進めさせていただいております。松本大学と組みながら、

実験、実績調べを3年間かけてやろうということで、今実験段階ではありますが、大分健康には脚力が上がったとか腰痛が治ったとか体重が一定になったとか、いろいろな面で血圧の面も含めて、健康にはいいというような結果が出ております。

そんな中で県とも連携をして、この自転車道を活用した自転車文化、自転車のまちづくりを進めていきたいというように考えておりますので、またよろしく願いをいたします。

それから、いずれにしても今、働き方改革、先ほどから言われておりますけれども、難しい時代に入って、それぞれスポーツの場合はしっかりした指導者をどう求めるかということも大きな課題かなというふうに考えております。いい指導者がいなければ、子どもの個性、能力が伸ばせないんじゃないかという思いが、私としてはしておりますので、何とか指導者を求めたいな、義務教育の先生方のクラブ活動をしっかり指導できるような先生を招請することも必要かなと。橋渡教育長とも話をしているんですが、例えば部活をやるにしても柔剣道が必須科目になり、指導者が自らやったことのない、道着も着たことのないような先生、あるいは例えばテニスなんかの指導者の先生も豊科南中学校にはいないというような話も聞いていますので、指導者をどう入れるかということも大きな課題じゃないかなというように個人的には感じているところであります。

いずれにしても、明科北認定こども園については、自然活用型ということで明科の自然をしっかりと生かしていただいて、そして民間のノウハウを取り入れていきたいということで、地元の関係皆さん方にはほぼ了解を得ているということですが、少し時間をかけながら対応していきたいと思っております。

このことは、子どもたちの自然に親しませながらたくましい子どもをつくるという一面と、もう一つが人口減少に何とか歯止めをかけていきたい、そして全国発信をしながら移住定住促進にもつながればという思いで取り組まさせていただきたいと思っております。

学力のほうは、これどうしてもこの際発言をしたいというようなことがあったら願いをします。

全国平均行っていればいい、長野県平均行っていればいいということではなくて、やはりもう少し目標を高くしながら、平均点だけ行っていればいいということではなくて、ある面では平均点以上のところを目指すというのも一つの方向だと思えますし、必要な知識は身につけるとするのが非常に大切だと思えますので、学習の在り方は最初の資料1の問題とも絡むと思えます。電子メディアの聞き取りに対するアンケート結果にも出ているようにスマホなんかを活用する生徒が増えていたり、時間が増えてしまって、そっちにのめり込むという

ふうになくして、基礎学力だけはある面ではしっかりつけていただくということが大切だなという思いはいたしております。

以上です。

他に何かございますか。

二村委員 お願いします。

世の中に出るために学校に行っていて、自分なりの見方や考え方とか、また感じたことを本音で言える生徒になってほしいな、たくましく育ててほしいなと思うんですけども、昔のように学力を保障するには本人の努力次第というような根性論みたいなところもあったんですけども、今現在は先生方が学力が身につく方法とか将来的に必要な学力とは何かとか本当に力を注いでくださっているのを学校訪問等で拝見しております。

先生方の負担を減らして、またその質を上げるためにはやはり教員、先生方の数が必要じゃないかなと思います。

以上です。

市長 教員のもう少し人数を増やすということですか。

二村委員 そうですね。

市長 私どもとしては、今いる先生が自らしっかり個性、能力を引き出してもらうような先生方で、それを専門に職業として選んだ皆さんでありますから、どんどん先生を増やせばいいという思いは私としては持っていないんです。それは、むしろ今障がいを持つ子どもさんたちが増えてしまって、安曇野市では62人、63人ですか。

学校教育課長 64人でございます。

市長 安曇野市独自でそれぞれの先生方をお願いをして、障がいを持つ子どもさんたちの対応をさせていただいているんで、本来義務教育ということになれば、元来国が責任を持つべきであって、教員配置を安曇野が心配してお願いをするということはいかがなものかなという思いを抱いております。その辺は、市単独事業でやっているというのは恐らく長野県19市のうちでも安曇野市は手厚くやっているんじゃないかなという思いがあります。

むしろ、しっかり指導のできる、そんな先生を招請するということを教育委員会にはお願いをしたいと思います。

これ以上、県や国が援助して加配をしていただければいいんですけども、市単独ではこれ以上無理だなという思いはしていますが、教育長、部長、課長なり何かありますか。

教育長 一応、国のほうでは定数を定めて、その定数の範囲で行うようになっているものです。

から、先ほど安曇野市では64人の加配をつけていただいているわけで、それは加配ということプラスつけてやっているわけです。ですので、定数の改善ということは、事あるごとに国のほうへは要望は上げておりますけれども、なかなかそれがすぐに改善するということは期待できないかと思えます。

また、先ほど指導力のある先生を安曇野に呼んでくる、そのことのそうですけれども、先ほど私が述べましたように常に自分の専門性をしっかりと高める、自ら学んでそれを努力する、そういう先生を安曇野で育てて、また他地域に行っても安曇野で頑張ってきた先生はすごいぞと言われるような、そういう教育、充実した市になれば、また安曇野で教育をしてみたいという人材も来るのではないかと、そんな期待もしております。

須澤委員 後ろのほうのグランドデザインに関連するんですけれども、17ページに穂高北小学校で来年から新6年生ですか、教科担任制を導入するというふうにございました。これは、文字の中に埋まってしまうんですけども、非常にいいことだと思うんですよ。

これによって、例えば今教育長からお話がありましたように、ああいう学校で働きたいという他の郡市の先生が出てくればこの効果はあったと。やはり、教育は人でございますので、積極的な先生がいるかどうかということになるので、この穂高北小学校の新制度、これは是非進めていただきたい。今、話題の学力にも、体力はもちろんですが、指導力のない運動部の先生の下では、運動能力は部活においては高まらないのと同様だと思うんです。

是非、今ある先生方でできることへの工夫、それが今一番大事だと思って、これに着目しているところがございます。

以上です。

市長 いろいろと指導をしていただく指導員の先生方おいでなんですけど、やはり子どもたちに対して分かりやすい授業をどうするかということが、私は勉強大嫌いだったんですけども、分からなければ分からないで次へ進むので、もう嫌になっちゃって勉強嫌いになっちゃうというのもあると思うんですけども、その辺の教員の教え方というか、質の問題に対して、指導員の先生方はどのような指導をされておいでなんでしょうか。

学校教育課教育指導室教育指導員 先ほどの私の説明の中でも申し上げましたけれども、やはり先生のほうから一方的に教え込まれて、それを受け身的に受けているというような状況では、やはり子どもたちは勉強を好きにならないでしょうし、力もついていかないと思います。やはり、子どもたちが互いに意見を交換し合いながら、学び合いながらというところが大事だと思いますので、是非そういう指導をするような先生方を育てていただきたいということ

で、先ほど教育長のお話の中にも特色ある学校のところに学び続ける教師の中に、多くの学校で学び合いの授業づくりということが掲げられておりました。そんなところと一緒に、また取り組んでいきたいと思えます。

それから、もう1点、定例会の中でもご指摘があったんですけども、単に全国との平均とかということではなくて、例えば平均の半分に満たなかったような子どもたちをどうしていくか、どういうところにつまずいているのかということを中心に分析をしながら、それに力を入れて授業していくということも大事だと思いますので、そんな両面からできるように、また学校とともに進めたいと思えます。

以上です。

市長 ありがとうございます。

他に何かございますか。

学校運営は、校長先生の裁量というのが非常に大きいということになりますよね。昔は50人学級だったけれども、それが40人学級になって、今30人ですか。

学校教育課長 35人です。

市長 35人。どんどん昔と時代が違っているんで、子どもも少なくなっているんだけど、クラスの児童・生徒数も少なくなっていると、少なくなればきめ細かい教育ができるということが昔から言われたんですが、これ適正規模というのはどんどん少なくなって行って、例えば共同の研究であるとか、あるいはスポーツであるとかというのに差し障りはないですか。実際、どんどん少なくなって行って、極端に言えばマンツーマンで子どもたちを指導したほうがより濃いというか、中身の濃いものになるんでしょうか。切磋琢磨とかそういうこともなくなってしまうような気がするんだけど、どんどんある面で言い方悪いけれども、教職員の皆さんの職場を確保するためにどんどん少なくていけば、自分たちの職場を守れるというようなことが一方にあるような気がして、大義名分は少人数にしたほうが多人数よりも個性や能力を引き出せるよ、きめ細かい教育ができるよというのが大義名分としては打ち出されているんですが、実際どうなんですか。

学校教育課教育指導室長 全県的には、市長おっしゃるように複式学級、クラスが少なくなってきた、ほとんどマンツーマンに近い地域もありますけれども、安曇野市は実際はそういったところではなくて、35人を平均としながら子どもたちは学習をしております。

やっぱり、今話にも出てきましたように学校というところは集団で学ぶということが一番の特徴なんだというふうに考えております。それは、塾等でマンツーマンでいわゆる知識

を子どもたちが身につけていくということだけではなくて、集団でいることによって、友達の考えを聞いて自分の考えを深めたり、修正したりしていく。また、人と一緒に活動していく、社会性を身につけていく、その社会性を身につけるといふことと、知識を身につけていくという、その二つの側面を持つのが学校という場だといふふうに考えていますので、その学校の持っている教育的価値をフルに発揮するためにはある程度の人数は必要、ある程度の人数という言い方は失礼ですけれども、最低のラインが今、県では考えている35人という数字だと思っています。

ですので、本当に子どもの数が少ないところでは、あえて2学年を一緒の教室で学ぶことで、子どもたちの社会性やお互いに学び合うところを見つけて、意図的にやっているわけですので、やっぱりある意味では先ほどから教師の力量をどう高めていくかということが話題になっていますけれども、教師自身が集団で学ぶことの意味をきちんと捉え直していかなければ、要するに授業というか学校というものが知識を注入する場だといふふうに捉えてはいけません。もしかすると、そういうところにウエートを置いている先生もいるかと思うんですよ。でもそうではない、それだけではない学校というものの持つ教育的意味をきちっと一人一人の先生方が捉えて、ではそれには授業はどうあったらいいとか学級指導はどうあったらいいとか学校運営はどうあったらいいかという視点から考えていく。そういう視点を持つことが大切だと思いますし、教育委員会としても今日は体力とか学力とか、いわゆる数値を問題にして提案させていただきましたけれども、ここに出てこない部分、子どもたちのコミュニケーション能力はどうなっているのかとかそういう視点から先生方、教室訪問等を見せていただきながら、先生方に助言していかなければいけないなど、今の話を聞いていて改めて思っているところがございます。

市長 ありがとうございます。

集団で学ぶ、その中で人間関係を築く、そして社会性を身につけるといふことは、非常に私も大切なことだといふふうに思いますので、是非また安曇野の子どもたちをたくましい子どもにするためにご尽力を賜ればと思います。

他にございますか。

唐木委員 お願いいたします。

今の話に関連してなんですけれども、今教育の場、私は質の向上ということがすごく求められているのではないかなといふふうに感じております。次の資料5にもちょっと関わってくるんですが、今教育委員協議会の中で活力ある学校、安曇野市の活力ある学校とはどんな

学校なのかということで、話を進めているわけなんですけれども、その中でやっぱり子どもたちが集団の中で質のある、いい質の教育を受けていくという、そこに先生方にもっと頑張ってもらいたいと思うし、そしてまた今日の先ほどの教育長のほうからグランドデザインの説明がありましたが、そこにも反映されているんじゃないかなと。

もう一つは、高校の改革が行われているんですが、高校の改革はやっぱり高校教育の質をこれから少子化、人口が少ない中で高めていくということで議論を進めているのではないかなというふうに考えているわけです。

ですから、今市長おっしゃったように人数少なくしていけばいいのかなというその部分というのは、やっぱり何に向かっていくかということ、教育の質を子どもたちの未来に生きていく子どもたちへの教育の質を高めていくということがベースにあるんじゃないかなというふうに私は考えております。そういう立場で、教育委員会の定例会等も発言をさせていただくことも多々あるわけなんです。それがベースかなと思っております。

市長 ありがとうございます。

他にございませんか。

なければ次に進めさせていただきたいと思いますが、よろしいですかね。

(発言する者なし)

市長 それでは、次のほうへ進めさせていただきます。

学校教育課長のほうからの説明、資料5と、それから橋渡教育長のほうから説明いただきました資料6、資料7等について、それぞれご意見等ございましたら一括してお受けをさせていただきたいと思っておりますので、ご意見、ご質疑等、よろしく願いいたします。

唐木委員 お願いいたします。

資料6の安曇野市学校教育グランドデザインに関わってでありますけれども、今幾つかの前段のほうの資料を踏まえて、今年全市で重点的に取り組む中身ということがここに明確に示されているわけです。

この中で、学校単独でやっていけるものと地域とか家庭の協力も得なくてはならないようなものということがあるわけだと思います。それで、保護者の方と話をしたりとか、また学校の先生と話をしたりするときに、このグランドデザインが十分に浸透しているのかなというところはちょっと心配があります。

それで、この安曇野市の学校教育グランドデザイン、これは安曇野のまさに夢教育に当たっていくんだと思いますが、リーフレット化をして、そしてより分かりやすい表現、それか

らこの込められている18ページのところに、学校グランドデザインの改訂の趣旨というのがありますが、これをうまく盛り込んでいってリーフレットにして、そして安曇野の教育はこういうふうにやっていくんだぞというような形で示して、そしてまさに情報発信をしていく。そんなことも検討していくと、そうすると教育委員会だけではなくて、この総合教育会議の中で、市長とも話し合い合意して、そして今の教育が進められているということを明確に打ち出していけるんじゃないかな、まさに活力ある安曇野教育ということになるんじゃないかと、1本になるんじゃないかなということを大変思いました。

もう1点が、このグランドデザインの中で、市の研究指定校ということで、いよいよ小中一貫教育について考えているわけなんです、小中一貫教育は私はもう非常に成果を上げる、教育効果を上げる一つの方法ではないかというふうに思っております。以前、小中一貫の話が出たときに、市長にも私は大変関心を持っているんですというようなお話をさせていただいたこともありますが、このことが将来的には私は全市に小中一貫教育、または義務教育学校のようなものを安曇野市の教育の一つの特色として打ち出していく。それが安曇野の教育を受けてみようという方が増えれば、なおいいことになるわけですが、安曇野市教育の特色になっていってもいいんじゃないかなというふうに思っています。

そのためにも、積極的に全市的に行政のほうも教育委員会のほうも一体となって飛躍できたらいいなと、そんなことを思います。

以上です。

市長 ありがとうございます。

唐木委員の要望といいますか、意見に対して、地域や家庭、いつもいわれていることです。学校との連携というようなことも含めて、安曇野市のこの学校教育グランドデザイン改訂の趣旨に沿って、今発言があったわけですが、教育長のほうで何かその辺コメントございますか。

教育長 今、リーフレット化というような具体的なお提案も頂いて、これは今まで私ども教育関係者だけの共有であったものが、やはり市民一人一人の共通の意識になることが本当の成果を上げていくことにつながるんだろうなということを考えておりますので、今のご提案、そしてこの総合教育会議でこのことを議題として話し合っていたいただいたことを大変うれしいことでもありますし、また重く受け止めて、事務局でも前向きに検討させていただきたいと、こんなふうに思います。

市長 ありがとうございます。

教育長の発言を受けて、事務局から何か補足ありますか。

事務局 特にございませぬ。

市長 他の委員の皆さん方、残りの議題、全て一括して何かございましたらお願いいたします。

須澤委員 資料1に関連することが資料7の現在の安曇野市コミュニティスクール、これのグランドデザインに載っているなというふうに私は思ったところです。つまり、中学生になると1日に3時間以上、スマホを5割が使っている、こういうわけですから、これはご家庭でも認識していると思うんです。大分やっているなというようなこと、それをコミュニティスクールの中で今度この来年度からの変革によりますと、学校ごとの運営協議会というふうになるわけですので、学校ごとというときめ細かな学校単位に保護者との連携ということが学校と保護者連携が結構できるんじゃないかと思うんです。

やはり保護者とそして学校中心、もう一つがコミュニティスクールは地域の方が入ってくださっていますから、学校を中心にして保護者、地域、この三つが関わることで一番の問題、それからその他体力や学力についても、他校との比較ではなくて、自分の学校がこのようになってきている、今後こうなってほしいという方向が見えるんじゃないかということで、19ページの学校ごとの運営協議会、これがうまくいってほしい。なかなか問題点は含んでいるわけですが、そんなふうに思いました。

ちょっと長いですが、2点目です。16ページの基となる学校教育グランドデザイン、このさりげなく下のほうにあります市研究指定校、これが明北小学校含めて三つの学校がこれで行こうというお考えということですので、これは画期的だと思うんです。もう一つ、ここで一番下にございますけれども、4行目です。小・中学校9年間を通じた系統的な教育活動、教育課程です、これと同時に小中一貫の明科中学校区の教育課程が、他の地区と違う特色ある内容を導入されると、さらに生きていくんではないかと思います。

一案を申し上げますと、今度の学習指導要領で5年、6年に英語が本格的に入ってくるわけですが、例えば小中一貫教育では、松本地区にあります小中一貫校とか中高一貫校に見られるようなもっと明確な教育目標、そして教育課程、例えば英語はこの明科中学校区の小中一貫教育で学びたいというような人たちが出てくるような、そんな教育課程を是非展開していただくといいかなと、他ではやっていないということをやっていただくと、これまたいい実験になるというふうに思います。

そうすると、それが先ほど唐木委員も発言されていましたがけれども、全市的な小中一貫なり義務教育学校の流れにつながっていくんじゃないかと思います。我が校区では数学に力を

入れるとか、みんな特色あっていいと思います。教育課程の縛りがある中で、どのような工夫ができるかということだと思います。義務教育学校とするのか、小中一貫にするのか、この辺も各学校区の特徴が出てくるのにつながると思います。

是非、来年度からのこの明科中学校区の研究指定校におけるご努力を応援したいなというふうに思った次第です。

市長 ありがとうございます。

ただいまの質問に対しまして、あるいは意見に対しましてコメントございましたらお願いします。もちろん学校を中心ということではありますが、保護者、地域との関わり、これを大切にしてほしいというような声や小中一貫教育、これが素晴らしい取組だという評価を頂きながら、より明確な方針を打ち出したらどうかと、そして他の学校からも学びたいと思われるような内容、全市的な流れにしてほしいというようなお話だったと思います。

ご意見というかコメントをあったら、教育長なり部長なりお願いをします。

教育部長 それでは、私のほうから今回全ての学校にこのことをご説明し、呼びかけたわけです。明科は3校ともそれぞれがこういったことに取り組んでみたいと、こういうことで校長先生方が代表して私どもに申し出てくださったものですから、まずはその意欲に敬意を表し、そして先ほどご意見にございましたようにどういう特色のある、魅力のある教育を実現できるのか、その可能性について狭いことにとらわれず、大きな視点で自由闊達な検討ができるように私どもも精いっぱい支援をしてまいりたいと思います。

また、定例会でもご報告をいたしますので、是非委員の皆様にもご意見を頂いて一緒に取り組んでまいりたいと思います。ありがとうございました。

市長 他に全般についてございますか。

二村委員 安曇野市に転入してくる家庭が選ぶ条件の一つに、教育というのがとても大きなのがあって、ある地域の校長先生が新しく転校してきた子どもたち、また1年生に入る子どもたちの保護者の方たちがとても自然環境も整っているし住みやすそうだし、また子育てもしやすそう、学校の場所とか教育内容も大きな魅力があるということ saying it and the fact that the principal was happy to hear it.

小中一貫教育、明科については手を挙げてくださって一貫教育に取り組んでくださるということは、とてもこれから他の学校にとっても励みになることであって、興味があることではないかなと思うので、異学年で交流を図る縦を意識した連携というのがとてもいいことなのではないかなと思います。

また一つ、「たくましい安曇野の子ども」ということで、地域コーディネーターの方が自分にできることは何かということをも物すごく考えてくださって、学校が変わってきていると思います。

そしてまた、それが今度から地域コーディネーターは複数人の配置が可能ということなので、是非複数人の地域コーディネーター、そしてまた無償のボランティアで来てくださる方たちの是非居場所を学校の中につくってあげていただけたらなと思います。

また、市内から市外の大学へ通っている学生の中で、ボランティアしたいという気持ちのある学生がいたのを話を直接聞きましたけれども、そういう人たちの受入れはどうなるのか、また考えていただけたらなと思います。

以上です。

市長 地域コーディネーターの在り方も含めてということですが、学生の皆さんの活用というようなことについては、何か考え方ありますか。

それと、安曇野市コミュニティスクールグランドデザインの案について、各学校が1名でなく複数人の配置が可能ということですが、参加していただける皆さんの目星というか、見通しはついているわけですか。

学校教育課教育指導室長 地域コーディネーターについては、私ども年度初めと年度終わり、今回後半がコロナウイルスの関係でできなかった地域もありますが、地域ごとに回らせていただいて、ACSのまとめの会をやらせていただいて、その中で地域コーディネーターが複数いたほうが地域コーディネーター自身も人脈を広げやすいということや地域コーディネーターのほうからこんなことを学校に提案したいといったときに、やっぱり複数いたほうが相談しやすいというような声が地域コーディネーターのほうからもありまして、こういうグランドデザインのほうにつながってきております。

ですので、そういう地域のつながりの中で、地域コーディネーターを増やしていくということについては、ある程度地域コーディネーターが中心になって増やしていくことは可能なのかなというふうに見通しは持っております。

また、学生のボランティアについては、今年は実施しませんでしたけれども、昨年度は夏の間、市の中間教室を一定期間、夏休みの始めと終わり、子どもたちが急に休みに入ったりリズムを崩したり、あるいは夏休み明けの登校に向けて準備期間ということで開放したんですけれども、そのときに松本大学の学生でボランティアをしたいという方を受入れて、子どもたちと関わっていただいたことがありますので、そんな実施の実績を基にしながら、大学と

の連携みたいなことも探っていけるのかなと考えております。

具体的に、ではどんなふうにボランティアを受け入れていくことについては、まだ構想はありませんが、そういう実績があることはご報告いたします。

市長 ありがとうございます。

よろしいですかね。他にございますか。

(発言する者なし)

市長 なければ、次に進まさせていただきますと思います。

それぞれ貴重なご意見を頂きました。

時間が大分押してはいますけれども、こういった意見交換というのは、非常に私は大切ななというように思っております。頂きましたご意見については、今後も生かせるものはしっかり生かしていかなければいけないというようなことで、今後の教育行政に反映をさせてまいりたいと、このように思っております。

◎報告事項 新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休業について

市長 それでは、報告事項ということで新型コロナウイルスの感染防止のための小中学校臨時休業中の対応について、報告ということでお願いをいたします。

教育部長 それでは、本日配付いたしました当日配付資料の5の報告関連ということで、それぞれ報告1、報告2、報告3、担当のほうから順番で説明いたします。

では、学校との関係を會田室長のほうからよろしく申し上げます。

学校教育課教育指導室長 「新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休業について」報告1 卒業式、休業中の学習、始業式、入学式等学校の対応についてにより説明。

教育部長 「新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休業について」報告2 小学校臨時休校に伴う放課後児童クラブの対応について、報告3 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する公共図書館の対応により説明。

市長 ただいまの説明に対しまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

それぞれ、関係の皆さん方のご協力により大きな混乱がなく推移しているということでございます。

唐木委員 お願いいたします。

まず、卒業式、それから臨時休業中の児童・生徒への対応、大変なんですけれども、児

童・生徒の心情も大事にした対応の仕方をしていただき、本当にありがたく思います。私たち、子どもたちの育ちを大事にし、子どもたちの心を大事にするということで、教育委員会動いているわけですが、それを本当に具現というか、現れるような形で対応していただいたこと、本当にありがたく感謝を申し上げます。

それから、9ページに関わってであります、市の職員の方が延べ280人が勤務の前、勤務の後にこういう対応をしていただいたこと、それから教職員が延べ261人の要請に対して、対応していただき、非常に柔軟な対応をしていただいていることも大変感謝であります。

教育とか市の教育委員会の信頼ということが、ますますこれでさらに深めていく一つになるんじゃないかなというふうに思います。ありがとうございました。

一つお聞きしたいことではありますが、安曇野市は3月2日からの休校要請に対して5日から、子どもたちのことをいろいろ考えたり、学校の状況を考えたりして5日からの休校としたわけではありますが、このことについて、保護者とか、それから児童・生徒、それからまたは地域の方々から何かお声が入っていることがありましたら、教えていただきたいと思えます。

以上です。

市長 国のほうからの要請だと3月2日から休みだと、前の金曜日の夕方になって政府のほう、首相が要請依頼をしたということですが、私どもとしては準備を十分整えてということで対応させていただいたわけですが、2日が5日に延ばしたという理由について、若干説明を詳しくしてください。

学校教育課長 この理由につきましては、一般質問初日の冒頭で教育長からそれについて述べていただいております。

2月28日に総合教育会議を開いて、市長から3月5日という決断を頂きました。翌日の信濃毎日新聞を見たところ、19市のうちの大半が3月2日、3日ということでありまして、安曇野市が一番遅かったことは事実でございます。端的に申し上げますと、3月5日とした理由ですが、ご家庭における準備にも時間が必要であるということ、それから何と言っても最後の最後まで別れ、時を惜しんでいただくということでもあります。そういうことから5日にさせていただいたというものでありまして、28日にこのことをオクレンジャーでまずは保護者に一報を伝えたわけでございますけれども、その後20、30件の問い合わせがございました。なぜ5日なのか、政府の要請は2日からじゃないかということでございましたけれども、今申し上げたように臨時休業となることによるお子さんの受け入れ態勢の整備、そしてご家庭

においてもきちんと心積もりをしていただくための時間ということで、説明をしたところ納得を頂きました。

ただ、混乱を抑えるためにその後第二弾のオクレンジャーを使いまして、今申し上げたようなことを発信したところ、その後電話等の問合せはほとんどなくなりました。

また、インターネットですけれども、こちらのほうのメールでのお問い合わせは、私が把握している限りでは3件ございました。1件は非常に教育委員会の対応に感謝すると。実際保護者の方からでしたけれども、小6と中3、卒業生をちょうど持っているお母さんから丁寧なメールを頂きまして、非常に教育委員会の対応を高く評価いただきました。もう1点のメールは、子どもたちが休みになると、道路とか公園に出て遊ぶので、そういう管理、指導をしっかりと学校を通じてやってほしいというメールが1件、もう1件は卒業式は是非やってくださいというご意見でした。そのときは卒業式の取扱いはまだ発信をしておりませんでしたので、もっともなご意見、お問合せだということでございます。

以上、雑ぱくですが、状況は以上でございます。

学校教育課教育指導室長 時間迫っておりますが、紹介したいと思います。

今回の休校に対する処置、本当にありがとうございました。

我が家には6年と、中3の子供がいます。

今週は、他のクラスに行っちゃいけなくなった、卒業式は当事者と保護者だけっぽい。と、日に日に不安が募るなか、木曜日の政府の発表。子供達に、明日が最後の登校かもという、泣いていました。

今まで一生懸命育ててきて、節目の年、金曜日の朝小、中学に送り出すのはこれが最後なのかと思うととても悲しい気持ちでした。

でも安曇野市は4日までの登校期間をもうけてくれて、本当に嬉しかったです。6年の子どもは、週末に、クラスみんなにメッセージを書く、5年生に委員会の仕事を引き継ぐための資料を作ると、張り切っています。中学の子供も私立高校を受けているので、合否後の対応もしてもらえる、本当に貴重な3日間を頂いたと思います。

私も気持ちの整理がつきそうです。

しかも、心配な家庭には欠席ではなく、登校停止処置にしてくれると言うのは、神対応だと思いました。

昨日の2通目のオクレンジャーをみて、批判の問い合わせがあったのかなあと感じました。

とても感謝している親もいることを伝えたくてメールさせていただきました。大変な事態

ではありますが、今後も最大限、子供に寄り添った対応、よろしくお願いします。

市長 ありがとうございます。

私も個人的には、国のあんまりにも方針が急過ぎて戸惑いが多かったと思いますが、ほとんどの自治体が2日で実施をしたんですが、私どもとしては十分な施設の利用であるとか人員配置であるとか社会福祉協議会との連携であるとか、できる限り家庭にしわ寄せがいかないようにという思いで、期間を取らせていただきました。

19市のうちでは一番余裕があったわけですが、77自治体の中では3月6日というところが数か所あったと、それぞれの自治体の判断に任せるというような方針が国のほうから示されたんですが、万が一何かあればいけないというようなことの中で、最初ご挨拶申し上げました2月28日に緊急の総合教育会議を開かせていただいた、その前に校長会等も開催をしていただいて、もしかここから感染者が出れば、休校にせざるを得ないというような方針も打ち出されていたようですが、幸いにして感染者が出なかった、いまだに出ていないということで、ほっとしているところでございます。いずれにしても、準備が整わないうちに2日から一気にというのは、金曜日の夕方決めて土日になってしまう、月曜日から休めというのが私としてはひっかかるなという思いがいたしております。

政治的判断で、国、首相が責任を持つというように言われておりましたけれども、これから休業した皆さんの補償問題も含めて、どこまで国が責任を持てるのか、終息がいつになるのか、ウイルスに対するワクチンもできていない、このワクチンも早くても1年は最低かかるんじゃないかというようなことを言われる中で、また10日間休めとか、いろいろ集会自粛しろというような要請がなされていますけれども、先行きが世界的に広がっている問題でありますので、非常に心配をされる場所があります。

他に何かございますか。よろしいですか。

(発言する者なし)

市長 それでは、それぞれの方針に基づいた総合教育会議の内容については、ご了解を頂いたということで取り決めさせていただきます。

◎教育に関する懇談

市長 次に、時間が大分押しておりますけれども、教育に関する懇談会ということでございます。協議をしていただいた以外で、この際委員の皆様方から何かございましたらご発言、ご

提言等いただければと思います。

特にございませんか。

(発言する者なし)

◎その他

市長 よろしければ、その他の事項に移らせていただきますが、事務局からございましたらお願いします。

事務局 特にはございません。

市長 分かりました。

それでは、本日の総合教育会議、第3回ということでございますが、全ての議事を終了をさせていただきます。

教育問題というのは、幅が広くて奥が深いのでなかなかすぐに特効薬というわけにはいきませんが、それぞれ委員の皆さん方にはこれからも安曇野市教育の振興についてご助言を頂いたり、またご支援、協力を賜りたいと思います。

以上をもちまして、本日の総合教育会議、全てを終了させていただきたいと思います。

進行があまりうまく行かなかったと思ひまして、皆さん方にご迷惑かけた点もあるかと思ひますが、司会の座を降ろさせていただきます。ありがとうございました。

◎閉 会

教育部長 それでは、本日の会議事項は全て終了いたしましたので、これで閉会といたします。

大変ありがとうございました。